

その他の土石製品製造業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16～17	石材工場で、石材を切削機で切断後、移動させようと切削機台車から降りる際、足を滑らせて転倒し、左手を置いてあった別の石材にぶつけてしまった。その時は大した痛みもなかったが、徐々に痛みが増し腫れもでてきた。	53	1～9
5	15～16	工場へ配送後、空きコンテナにシートを掛けていて、足下をよく見ていなかったの荷台から落ちて左肘と右踵を負傷した。	44	50～99
6	15～16	自社トラックの車検を行っている会社で、クレーン故障箇所を説明するためトラックの荷台に上がり、説明しようとタイヤに足を掛け乗ったところ、ブレーキが利いておらず、ぐるっと回転して自分の右足で左足の指を踏んで蹴ってしまった。	66	1～9
6	8～9	荷下ろしの為、コンテナ車両の荷台に上がった際、足を滑らせ荷台から転倒し、床面に転落した。その際、右膝を強打し負傷した。	49	50～99
6	12～13	当工場内壁のペンキ塗り作業中、脚立から（下から4段目位の所）落下して（1m位）、左足首を骨折したものである。	76	10～29
6	11～12	自社プラント内洗車場にて、タンク車の上に乗って作業をしていた。タンク車上部にある鉄の蓋を開けて作業していたところ、後部にある栓を閉める為、上部蓋を閉めたが、閉まりきっておらず開いた。その際、開いた蓋が腰に当たり、車両から落ちた。体のあちこちをぶつけながらも、下に落ちる前に右手で車両を掴み、地面への落下は防いだが、右腕等を負傷した。	51	10～29

7	9~10	工場土場にて、フォークリフトで荷役作業後、リフトを停止し下車するときに、脇見をしていたためステップ以外の所に足を乗せてしまい、体勢を崩して横向きに転倒した。その際、受け身をとっていなかったため、コンクリート面で腰を負傷した。	59	10~29
12	13~14	生コンを指定された先に届けた処、元請の現場責任者から、生コン車の上部ホッパー口より一斗缶の不凍液を投入する様に指示され、足場等もなく、片手で手摺を握りながら、ステップを登っている時、一斗缶の重量に耐えられず転落し、脱落した一斗缶に脇腹を強打し、脇骨を打ち、落下の際スネも損傷した。当日は降雪の為、身体も寒い為冷えており、バランスを崩しやすい状態であった。	72	1~9
12	8~9	年末掃除の為、破碎機修繕後の片付作業の際、坂道に10tトラックを止め、車止めを装着する為トラックより降りた。荷積込作業が終了し、車止めをはずしトラックに乗ろうとして、付属の手つかみを左手が掴みそこね、体勢を崩し、坂道の横の斜面(2~3m)に落下してしまった。	68	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html